



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 生駒 祐健
幹事 渡邊 國和
SAA 峯口 馨
会報小委員長 嵐 繁雄

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市城田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

第 2526 回 例会 平成 25 年 10 月 30 日 (水・晴)

2013~2014 年国際ロータリーのテーマ

ゲスト

第 2530 地区職業倫理委員会

いわき小名浜ロータリークラブ

蛭田 修二様

◎会長報告 - 川口会長エレクト



皆さん、今日は。本日も生駒会長が所用で欠席されておりますので私が代理で報告させていただきます。本日は大変秋らしい日になりました。そんな中で例会にこのように沢山の会員が出席されるという

のは勿来ロータリークラブらしいことだと思います。地区大会も半月後に控え会員の皆さんの姿勢が表れているように思います。実行委員長さん始め地区幹事、副幹事の皆さん、各委員会の皆さんが忙しい中互いに協力しあい地区大会を成功させる為に協力をお願いいたします。それでは本日のお客様をご紹介しますいわき小名浜ロータリークラブの蛭田修二様です。地区の職業倫理委員会の委員もなされており本日は職業奉仕についての卓話を頂戴することになっております。宜しくお願いいたします。

◎幹事報告 - 渡邊國和幹事

先週は例会終了後に職場見学ということで職業奉仕委員会の企画で住吉にある小名浜菜園のトマト工場へ行って来ました。その後吉野地区大会実行委員長と共に地区大会会場であるいわき明星大学を確認して参りました。

来週の例会から赤津新会員が出席予定です。富澤会員が紹介することになっております。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 佐藤政司小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

出席状況	正会員数	49 名	本日出席会員数	39 名
	本日の出席率	84.78%	修正出席率	95.65%

ロータリーソング 我等の生業

— 今月は職場奉仕・米山月間です —



4 つのテスト

小熊 東 会員

◇スマイルボックス委員会 - 山下小委員長

・本日は卓話をさせて戴きます。宜しくお願い致します。

いわき小名浜ロータリークラブ 蛭田 修二様
いわき小名浜ロータリークラブ蛭田修二様の卓話を歓迎して。山下、富岡、押田、小熊、富澤、小松崎、岩元、秋山、高萩、赤津、嵐、清水、荒川 (清)、金成、斉藤、高木、林、橋本、鈴木 (修) 各会員及び渡邊公平ガバナー、鈴木雅之副会長、川口会長エレクト、渡邊國和幹事、鈴木副幹事

・先週の職場訪問御苦勞様でした。

橋本職業奉仕委員長

・前回休んでごめん下さい。

煙山、松崎、児玉、鈴木 (修) 各会員

◇ゲスト卓話者紹介 - 橋本慶紀会員



本日卓話をお願いしたいいわき小名浜ロータリークラブの蛭田修二様をご紹介します。今年度蛭田修二様は地区の職業奉仕委員会の中の職業倫理委員会委員をされておられます。先日職業奉仕研修会に

出席した時にご一緒しましたので当クラブで卓話をとお願いしたところ心良くお引き受け下さいました。本日は職業奉仕について詳しくお話を聞ければと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

◎ゲスト卓話

いわき小名浜ロータリークラブ 蛭田 修二様
私が勿来ロータリークラブさんを訪問させて戴く

のは 4 年振りになると思います。

2009 ~ 2010 年の比佐ガバナー補佐の時の分区幹事を当時私はやっていたので何度かその年度は訪問させて頂きました。比佐ガバナー補佐は真面目な方でしたので



年間各クラブを 3 回から 4 回訪問したいということで訪問致しました。そんな関係で身内のクラブでお話をするような感覚でお邪魔致しましたが緊張もしております。地区大会についても全面的に協力させて頂きたいと考えておりますのでどうか宜しくお願いいたします。それでは地区の職業奉仕委員会森惣兵衛委員長のもとで学んだこと等について資料を見ながらお話をしたいと思います。

ロータリーでの職業奉仕とは

ロータリーで唱える職業倫理観 (四つのテストや職業宣言) をふまえ、奉仕する心を持って、日常的な通常の仕事を継続的に、適正な利益を得ると共に、地域社会の進歩と平和に貢献すること。

1. 自己の利益と相手 (取引先) の利益の調和が大切。「利己と利他の調和」が職業倫理の中核的概念。四つのテスト
2. 例会に出席し、会員相互の人格的接触により、人格の向上につとめ、利己と利他の調和のとれる人格を目指し、会員相互に刺激しあう。小堀憲助先生の言葉「心をこめて例会に至り 境地を得て例会を去る」
3. 世のため人のための心を持って職業を営んでいると、その結果として「信用」という保護膜に包まれて、長期的に安定した利潤を着々と獲得する強靱な体質の企業を作り上げることができる。その原理の総体を職業奉仕とよんでいる。(深川純一 P G 兵庫県伊丹市 伊丹 R C)

四つのテスト

シカゴ R C 会員であり、1954 - 1955 年度 R I 会長を務めたハーバート・テラーが、1932 年倒産に瀕していたクラブ・アルミニウム社の社長に就任した際従業員に示した行動指針であり、5 年後には、その借金は利子と共に完済し、15 年後には、株主に配当を分配するまでに会社を建て直した、四つのテストは理想主義をはかるに超えた、極めて実用的な倫理的指針。今後、全ロータリアンの職業奉仕の指針にしたいとの声があがり、彼が R I 会長に就任した 1954 年にその版權がロータリーに寄付され今日にいたっている。

日本語訳は、1954 年 (S 27) 戦後全国 1 区制の日本で最初のガバナーを務め、日本から初めて R I の

理事となられた、手島知健氏が「簡素で分かり易いもので、ロータリー以外の人々、特に若い人にも難解でないもの」との条件で、全国のクラブに日本語訳の応募を働きかけ、70 数件の応募が寄せられた。審査の結果、東京クラブ所属の木田親男氏の応募訳が採択され現在使われている。

クラブにおける職業奉仕活動

ロータリーにおける職業奉仕の理念である「自分の職業倫理を高めると共に職業を通じて地域社会に貢献し奉仕する。」との考え方を基本に実践した、いわき小名浜 R C における職業奉仕活動の事例について報告致します。

ロータリー活動の原点はクラブの活動であり、クラブ活性化の原点は会員である。との認識に基づき、会員相互の職業を互いに理解することをめざし、例会卓話担当委員会による会員卓話を一年間継続しておこないました。会員の業種、業態に関してはある程度理解しているが、仕事 (職場) の中身については以外と知らない事が多いように思います。また、様々な職業について話を聞くことにより、自分の職場のあり方や職業を通じて地域社会とどのように関わることができるか学ぶ良い機会になったようです。

また、各クラブにおいて行われている職場訪問については、単なるメンバーの会社訪問ではなく、職業分類において未充填の企業を訪問することにより、地域社会との交流の機会を増やす活動を実践し、結果として会員増強につなげる目的で行った活動や、次世代になう若い世代との交流を目的として、地元高等学校への学校訪問などを企画実行致しました。未充填企業の訪問については、港町小名浜のイメージがありながら、小名浜クラブに現在、水産漁業関係の企業家がおられません。地域社会との交流の輪を広げ、社会貢献活動の促進につなげられればと企画したものです。また、学校訪問時においては、生徒の皆さん達との交流会を、将来の希望や、進みたい職業についての質問に専門分野のメンバーが人生の先輩として答える形式でおこないました。若者達の将来に何か参考になったなら幸いと思っています。

以上、職業奉仕という視点で地域社会とどう向き合い、職業奉仕をロータリアンとしてどのように実践するべきか、をテーマとした活動を展開いたしました。